

ゼフィール合奏団 第55回定期演奏会

# 創立50周年記念 第九演奏会

## 演奏曲目

L.V.ベートーヴェン

序曲「エグモント」Op.84

交響曲第9番 ニ短調 Op.125「合唱付き」

●指揮

小山 洋治

●ソプラノ

高橋 昌子

●アルト

藤井 美雪

●テノール

若井 健司

●バリトン

折河 宏治

ゼフィール合奏団

岡山市民合唱団鷺羽

●合唱指揮

上月 明

日時 2020年 **6月21日**(日) 13:00開場 14:00開演

場所 **岡山シンフォニーホール**

(岡山市北区表町1-5-1 ☎086-234-2001)

入場料 **一般**(前売り) 1,500円 **学生** 1,000円  
(全席自由) (当日) 2,000円 (前売り・当日)

## チケット販売所

岡山シンフォニーホールチケットセンター ☎086-234-2010  
アルテゾーロ・クラシカ ☎086-224-6123

会場案内図



【主催】ゼフィール合奏団 (公財) 岡山シンフォニーホール

【お問い合わせ】TEL 086-221-8054 (金谷)

# Profile

## プロフィール



### ◆指揮 小山 洋治 *Yoji Koyama*

岡山大学法文学部法学科卒業後、岡山大学教育学部学士課程卒業。

在学中、岡山大学教育学部音楽教室定期演奏会で、菱川欣三郎氏指揮同管弦楽団でベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲を独奏した。

2005年6月、保科洋氏の指揮で一夜にベートーヴェンとメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲を独奏する等、多くの

協奏曲を独奏した。

リサイタルは、1978年以來8回岡山で行う。この間、東京、横浜、岡山、福山、九州一円におけるソナーレ弦楽四重奏団、ガボーア弦楽四重奏団ヴァイオリニスト、ゼフィール合奏団指揮・コンサートマスターとして出演。

岡山大学教育学部非常勤講師（ヴァイオリン、ヴィオラ）を務めた。岡山県立岡山芳泉高等学校教諭を最後に定年退職。ヴァイオリンを故 木村善之、故 竹本洋、市原利彦、浦川宜也、指揮を早川正昭の各氏に師事。



### ◆ソプラノ (Soprano) 高橋 昌子 *Masako Takahashi*

本名虫明真砂子。愛知県立芸術大学卒業、同大学院修了。イタリア国立ヴェルディ音楽院に留学。文部科学省在外研究員として米国インディアナ州立大学音楽学部で研修。矢部禮子、小島琢磨、東敦子、R.リッチの諸氏に師事。桑原賞（愛知県知事賞）、日本演奏連盟賞、第21回伊声楽コンクール第1位受賞。同時に、文部大臣賞、外務大臣賞等を受賞。NHK洋楽オーディションに合格。岡山県文化奨励賞を受賞。

津山国際音楽祭「魔笛」、岡山シンフォニーホール開館記念オペラ「ワカヒメ」、倉敷音楽祭「ラ・ボエーム」、「夕鶴」などのオペラに主演。インディアナ大学にてゲストリサイタル、全国二期会サミットコンサート出演など幅広く活動している。岡山大学大学院教授、中国二期会理事長、神戸波の会会員。



### ◆アルト (Alto) 藤井 美雪 *Miyuki Fujii*

大阪芸術大学演奏学科声楽科卒。宗教曲からオペラまで、深い声と安定感、演技力ともに高く評価されている。昨今は現代曲との関わりも多く、権代敦彦作曲「子守歌」名古屋フィル定演。細川俊夫作曲「声なき声」は広響定演、読響定演及びミラノ現代音楽祭。「星のない夜」は広響定演、ベルリン等国内外で出演。オペラ「リアの物語」ゴネリル役、「班女」実子役でも各評論誌で絶賛された。2020年2月には

オペラ「松風」に出演予定。

神奈川フィル300th.記念 マラー「復活」はフォンテックよりCDがリリースされている。霧島国際音楽祭奨励賞3年連続受賞、F・ラボー声楽コンクール3位、カタラーニ及びG.L.ヴォルピディプロマ受賞、第11回エネルギー音楽賞受賞。エリザベト音楽大学元非常勤講師。広島県在住、後進の指導にもあたっている。



### ◆テノール (Tenor) 若井 健司 *Kenji Wakai*

東京芸術大学・大学院修了。在学中「甦る第九」（日本テレビ放送）にてデビュー。オーストリア・ブルガリア・ウクライナなど各地で活動し、ブカレストフィルハーモニー管弦楽団、スタラザゴラ国立歌劇場管弦楽団他と共演する。

数多くのオペラで主演。2014年オペラ「扇の的」を企画し、芸術監督・与一役を務め、2018年10月に四国初の海外オペラ公演をブルガリア国立歌劇場にて成功に導きメダル授与。2013年は、銀座・王子ホールで四回目のリサイタルを行い、好評を得る。

2000年グラーツ大学、ミュンヘンへ文部省在外派遣研究員として留学。2001年高松市文化奨励賞受賞。2006年ブルーボラリス賞（個人優秀賞）受賞。2010年香川県文化芸術選奨受賞（個人初）。現在、香川大学教授、四国二期会理事長



### ◆バリトン (Bariton) 折河 宏治 *Koji Orikiwa*

国立音楽大学卒業。同大学院修了。第14回日本モーツァルト音楽コンクール第3位。ウィーンで研鑽を積む。藤原歌劇団公演『イル・カンピエッロ』にアストルフィとして出演、藤原歌劇団デビューを果たす。続いて、『蝶々夫人』、『セヴィリアの理髪師』に出演。また日生劇場公演ではこれまでに『ジャンニ・スキッキ』、『利口な女狐の物語』、『魔笛』、『フィガロの結婚』に出演。

2011年度エリザベト音楽大学着任後は、西日本に拠点を移してオペラやコンサートなどで精力的に活動中。2015年8月には、マツダスタジアムでの広島東洋カープ主催試合において国歌を斉唱。同年12月には、広島サンプラザホールで開催のRCC主催「第九ひろしま2015」のソリストを務める。エリザベト音楽大学准教授。



### ◆合唱指揮 上月 明 *Akira Kozuki*

岡山大学教育専攻科（音楽専攻）修了。作曲を菱川欣三郎氏に、指揮法を近藤安个氏に師事。合唱曲の作品に、女声合唱組曲「母と子の語らい」、男声合唱組曲「智恵子抄」、同「ことばあそび歌」、ソプラノと男声合唱のための曲集「月曜日の詩集」等の作品がある。指揮者としては、岡山大学男声合唱団コール・ロータスの常任指揮者として38年間指導に当たった。また、昭和46年岡山市民合唱団鷺羽創立とともに活動に参加し、昭和53年からは指揮者として現在に至るまで活動を続けている。二期会中四国支部オペラ「魔笛」の公演や岡山シンフォニーホール開館記念オペラ「ワカヒメ」の初公演で合唱指揮をしたり、平成22年10月には、国民文化祭「合唱の祭典」で、信長貴富氏に委嘱した、「どんたくー竹久夢二の八つの小唄ー」の初演を指揮したりした。

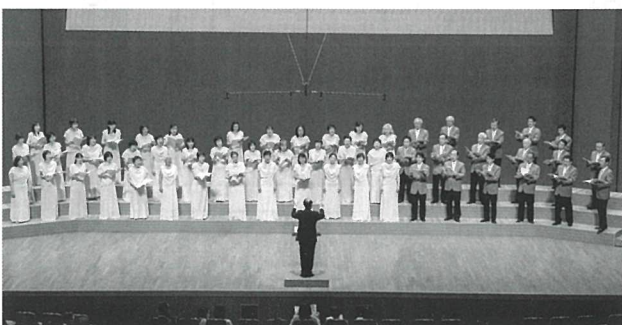
現在、岡山県合唱連盟会長、岡山大学男声合唱団コール・ロータス名誉指揮者、岡山市民合唱団鷺羽指揮者、桃太郎少年合唱団団長。



## ゼフィール合奏団

1971年夏、精緻なアンサンブルをめざして岡山大学交響楽団のOBが中心となり、「ゼフィール室内合奏団」として創立されました。ゼフィールの名称は、ギリシャ神話の爽りの秋をもたらす西風の子ゼフィロスにちなんで付けたものです。創立当時は木管五重奏と弦楽合奏のジョイント方式で定期演奏会を行い、1977年夏には、高校総体のため御来岡の当時の皇太子殿下、皇太子妃殿下、浩宮殿下歓迎演奏の栄に浴しました。

1986年の第17回定期演奏会から名称を「ゼフィール合奏団」に変更し、今日まで弦楽合奏の神髄を求め、たゆまぬ努力を続けています。また、2010年からベートーヴェン交響曲チクルスを始め、1番から8番まで演奏しました。常任指揮者は創立以来小山洋治。



## 岡山市民合唱団鷺羽

岡山市民合唱団鷺羽は、1971年7月に全国に通用する「芸術性の高い合唱団」をめざして、岡山県内の大学や職場、一般等の主だった合唱団に呼びかけ、指揮者に近藤安个氏を迎え団員45名で発足した。翌1972年2月には第1回定期演奏会を開催するとともに、全日本合唱コンクールにも参加した。発団当初は全日本合唱コンクール参加と定期演奏会が主な活動で、全国大会で銀賞2回、銅賞2回を獲得している。その後はモーツァルトミサ曲の全曲演奏に取り組み始めた。その集大成として、モーツァルト没後200年、鷺羽創立20周年という記念すべき1991年に、カーネギーホールで現地の合唱団と共に、モーツァルトの「レクイエム」を演奏した。その時は併せてサンゼゼでも演奏し、初めての海外公演を実現している。鷺羽はオペラの演奏にも積極的に取り組み、創立10周年にはガーシュインのオペラ「ボーギーとベス」を、第15回定期演奏会には中国二期会と共に「カルメン」を上演している。また特筆すべきは、合唱オペラという新しい分野にも取り組み、第30回定期演奏会には合唱オペラ「ごんぎつね」（委嘱初演）を発表している。その他、岡山シンフォニーホール開館記念公演オペラ「ワカヒメ」に参加したり、国体式典や国民文化祭に参加したりして、地域の合唱文化向上に大きく寄与している。